

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	四天王寺大学看護学部棟	階数	地上3F地下1F
建設地	大阪府羽曳野市学園前三丁目2-1	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	320人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,600時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2018年2月26日
敷地面積	139,600 m ²	作成者	株式会社服部建築事務所
建築面積	1,414 m ²	確認日	
延床面積	4,101 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 2.5</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 2.8</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 1.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 4.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.4</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 2.9</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>室内環境の向上に配慮し、視環境の向上や、空間のゆとり、快適性の向上に努めた。 また、便所の使用量も多いものと想定される為、節水型便器を積極的に採用する計画とした。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>昼光率、照度を高め、グレア対策としてカーテンや庇にて昼光を制御することで、視環境の向上をはかった。また全面禁煙対策を行うことで、室内環境の向上に努めた。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>階高を確保し壁長さ比率をおさえることで、空間のゆとり確保や快適性の向上に努めた。また、耐久性の高い床材、トイレについては防汚性の高い内装材を採用し、維持管理に配慮した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地中央に配置することで隣接住宅地の圧迫感を軽減し、既設緑地の保存を行うことで、室外環境の向上に努めた。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>外壁面に断熱材を設ける等、建物の熱負荷抑制に努めた。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型便器の採用により水資源保護や、LGS壁、可動間仕切壁の採用により再利用可能性向上に努めた。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>適切な屋外照明とし、計画建物を敷地中央へ配置することで、敷地外環境への光害に配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0144

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)四天王寺大学看護棟					
	建設地	大阪府羽曳野市学園前三丁目2-1					
	用途/区分	学校					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	

【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
	項目	評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.6	4		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体 3.0	4			
				住戸・宿泊				
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						5.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						4.2
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.4
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
	項目	評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			1.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			2.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								